

令和3年度 有田市立保田中学校 スクールプラン

有田市学校教育方針

認め合い、学び合い、郷土を愛する子どもの育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情をはぐくむ

保護者・地域の願い

- 学校教育に対する期待が高い
- 自分の考えを持ち、それを表現し、行動できる生徒
- 何事にも前向きに取り組む生徒
- 知・徳・体のバランスのとれた生徒
- 生徒の進路を保証する学校

【学校教育目標】

生涯学習社会を生き抜くたくましい生徒の育成
自学 自治 自愛

【めざす学校像】

安心・安全に過ごせる学校
 わかる授業で生徒の能力を伸ばさせる学校
 進路の希望を叶える学校

【めざす生徒像】

- 【自学】 問題や課題を自ら見つけ、解決のための方法と見通しを持って、自ら解決することができる生徒
- 【自治】 自分の生き方や社会をよりよくしようという願いをもち、行動することができる生徒
- 【自愛】 自尊感情を高めるとともに、自分とともに生きる、生命あるものを慈しみ、愛することができる生徒

前年度の学校評価

- 全体的には学校の取組を肯定的に評価
- 課題として
 - ・不登校生徒の増加、いじめを見逃さない学校づくり
 - ・授業改善、授業の質の向上
 - ・体力の向上

児童（生徒）の実態

- 素直で、真面目
- 与えられた課題は責任を持ってやり遂げる。
- 学習に対する意欲は高い
- 自主性、協調性、忍耐力に弱さ

重点目標

【自学】

- ◎授業改善と学力向上
 - ◎体力の向上
 - ◎ICT教育の充実
- 【研究部】

具体的な取組

- ・和歌山の授業づくりの基礎基本三か条の徹底
- ・主体的に学習に取り組む態度の育成を図るための授業改善
- ・読書活動の推進
- ・計画的な体力向上の取組
- ・各種調査の分析、活用
- ・授業・家庭での効果的なタブレットの活用

指標

- ・研究部による校内研修を3回以上
- ・主体的な学びを促す研究授業を各自年1回以上
- ・学力調査における正答率が県・全国平均以上、無回答率が平均以下
- ・スポーツテストのD・E評価が20%以下
- ・生徒の授業評価で肯定的な回答90%以上
- ・ピリオバトル開催
- ・90%以上の生徒が図書室を利用し、1人平均10冊以上、総数2000冊以上貸出

【自治】

- ◎特別活動の充実
 - ◎キャリア教育の充実【総合】
 - ◎望ましい学級集団づくり
- 【特別活動・生徒会】

- ・特別活動の指導のねらいの明確化
- ・生徒の主体的な活動の重視
- ・QUを活用した学級づくり
- ・3年間を見通した総合的な学習の時間の充実
- ・キャリア教育全体計画に基づく指導の充実

- ・特別活動のねらいと評価の充実
- ・全校集会の実施と、生徒会等の活性化を図る
- ・SDGSや地域との関わりを意識した総合的な学習の時間を実施する
- ・各学年でのキャリア教育の実施
- ・生徒、保護者による集団づくりの評価で肯定的な回答が90%以上

【自愛】

- ◎道徳教育の充実
 - ◎生徒指導の充実
 - ◎望ましい学級集団づくり
- 【研究部・生徒指導】

- ・道徳の校内授業研修（学年別・全体）の実施
- ・「道徳」の評価の充実
- ・特別支援教育の視点を持った生徒理解についての研修の実施
- ・いじめ、不登校の未然防止、早期対応の充実
- ・関係機関との連携の強化

- ・校内道徳授業研修を実施する
- ・特別支援教育の視点を持った生徒理解の研修を実施する
- ・いじめの認知件数、不登校生徒数の減少、いじめの見逃しの防止
- ・ケース会議の実施
- ・不登校生徒への組織的な対応
- ・生徒、保護者による評価で肯定的な回答が90%以上

【学校運営】

- ◎地域とともにある学校づくり
 - ◎校務の効率化
- 【主任・学校運営協議会】

- ・学校運営協議会の内容の充実
- ・地域、保護者と連携した取組の実施
- ・学校ホームページの更新
- ・主任者会を中心とした各部会の機能的な運営と会議の見直し
- ・ノー残業デー、ノー会議日の実施

- ・学校運営協議会を5回以上開催
- ・地域、保護者と連携した取組が8回以上
- ・学校通信等の発行を200回以上
- ・部活動休養日の効果的な活用
- ・HPの更新（ブログを含む）を年間50回以上
- ・ノー残業デーの実施を10回以上

◎特に重点的に取り組むこと